



陰部洗浄の手順



2023年5月吉日

大王製紙株式会社

H&PC国内事業部 九州包括ケア営業部
南九州営業所
八ヶ代 香

許可なく第三者への開示、及び転用、転載は禁止されています。



スキンケアの定義

『**皮膚の生理機能を良好に維持する、
あるいは向上させるために行う
ケアの総称である**』

具体的には…

**皮膚からの刺激物、異物、感染源を取り除く洗浄、
皮膚への光熱刺激や物理的刺激を小さくしたりする被覆、角質層の
水分を保持する保湿、皮膚の浸軟を防ぐ水分除去などをいう。**

(日本褥瘡学会)

○用意するもの 〈一例〉

- ①新しいおむつ
- ②微温湯 (38~40℃)
- ③すすぎがいらぬ洗淨液
- ④洗淨専用ボトル
- ⑤ふんわり吸水タオル
- ⑥ゴム手袋
- ⑦陰部洗淨用タオル (仕上げ拭き取り用)
- ⑧汚物入れバケツ、またはビニール袋
- ⑨ティスポエプロン (必要時)
- ※泡洗淨を実施している場合は石けん (泡立ちの良いもの・皮膚に優しい弱酸性のもの)
- ※防水シート (リネン汚染防止)



○微温湯の作り方

温度は38℃~40℃
 粘膜は温度に敏感なので、必ず温度を確認します。
 (腕の内側など皮膚の薄い部分で行う)

【注意】
 熱すぎたり、冷たすぎると不安になりおむつ交換に対する拒否が見られる場合があります。これから何を行うのか、しっかり説明をし、こまめな声掛けを心がけます。



**洗淨・保湿・保護の3つの機能！陰部洗淨におすすめ
 すすぎ不要でお肌を清潔に保ちます。**

①洗淨 天然由来の洗淨成分でお肌を清潔に

・植物由来の石けん配合。

②保湿 植物由来成分を中心に10種を採用

- ・3種のヒアルロン酸配合。
- ・5種の和漢植物由来保湿成分配合。※1
- ・トウモロコシ由来の保湿成分配合。※2

③肌保護 2種の肌保護成分を採用

- ・セラミド様肌保護成分配合。※3
- ・なめらか整肌成分配合。※4

※1 キハダ樹皮エキス、アカヤジウ根エキス、ヒオウギエキス、メマツヨイグサ種子、チャ葉エキス

※2 グリコシルトレハロース加水分解水添デンプン

※3 (メタクリル酸グリセリルアミドエチル/メタクリル酸ステアリル)コポリマー

※4 ポリクオタニウム-51





開示先限定

「すすぎがいらない洗浄液」
「ふんわり吸水タオル」
使用時の陰部洗浄



許可なく第三者への開示、及び転用、転載は禁止されています。



洗浄液の作り方

開示先限定

微温湯
(約38~40℃)



洗浄専用ボトルには、
300ml水位が
わかるライン入り

すすぎがいらない洗浄液ポンプ1プッシュ(約3.5ml)を
微温湯(約38~40℃)で300mlに希釈する。

女性

男性



身体に**直接**、微温湯で希釈した「**すすぎがいらぬ洗浄液**」をかけ、「**ふんわり吸水タオル**」で、こすらず**押し拭き**する。

(詳細はP.9～P.13)

女性

男性



状況により

「ふんわり吸水タオル」を敷く

パッドを前にずらす



※便でパッドには吸わせられない場合の助けにする。



※前にずらして洗浄水を吸収させられるようにする。



便の位置が前に移動

①使用済みの**パッド**で**ざっくり**と便をとる。

女性

男性



状況次第でテープ止めで大まかに拭いても良い。
(その際はテープ止めに微温湯をかけると
汚れが拭き取りやすくなる)



- ①使用済みのパッドでざっくりと便をとる。
- ②パッドをとる。
- ③仰臥位に戻す。

女性

男性



微温湯で希釈した「すすぎがいらぬ洗浄液」をかけ
愛護的になでるように優しく洗う。

女性



陰唇をやさしく広げ、洗浄液をかける。前から後ろへ、中心から徐々に外側へ向かって洗う。

男性



洗浄液をかけながら包皮を腹部側に引き上げ、包皮内部・亀頭を洗う。

男性



睾丸を強く押し付けないようにして陰囊、陰茎を洗う。
性器を持ち上げ股間を洗う。



肛門を洗浄する際は、側臥位にしてシワを広げて丁寧に洗う。

水分の拭き取りの際は皮膚への影響を考え、こすらず押し拭きする。皮膚の間も丁寧に拭き残しがないように。



水分の拭き取りの際は皮膚への影響を考え、こすらず押し拭きする。臀部から肛門部分に向かって行う。



ドライタイプの大判サイズで、 洗浄後の水分を素早く吸収します！



① 足浴、手浴の水分の吸収

4つ折りの状態から広げることで、足全体に巻き付けることができ、素早く拭き取ることが可能です。



② 超音波検診時のジェルの拭き取り

ドライのふんわり吸水タオルを使用することで、おしぼりを温める手間と洗濯の手間が省けます。



③ 褥瘡や創傷の周囲の皮膚の洗浄後の拭き取り

傷口周囲の皮膚についた浸出液や汚れを水で洗い流した後の水分の拭き取り取る商品のひとつとして使用できます。細かな箇所は4つ折りのまま、範囲が広い場合には広げた状態で使用できます。

注) 患部に直接触れるような用途には使用できません。



④ ストーマ装具を取り外した後の周囲の皮膚洗浄の拭き取り

ストーマ周辺についた便、粘液等の拭き取り、洗い流した後の水分の拭き取りに使用できます。ドライタイプで水分を素早く吸収させ、皮膚を乾燥させましょう。

注) ストーマに直接触れる行為は医療行為になるため、避けてください。